

札幌トレセン大会報告書

2017. 8. 22

札幌4種技術委員会

(札幌ブロックトレセンU11 嶋田雄二)

<p>1、大会名・日程 トレセン交流大会U11 2017年8月7・8日 SSAP人工芝他</p>
<p>2、参加選手（ ）内は所属チーム 神 晴翔・南 人晟・三船 煌晴（石狩FC）・奥山 慧秋・佐川 亮太（DENOVA） 大橋 唯人・鷹島 凌（クラブフィールズ）・中西 莉久（サッポロボーイズ）・田中 瑞己（札幌ジュニア） 中村 友哉（スポルティング）・武澤 龍之介（CEREZA）・峯村 凌河（福住） 田中 基也・今野 眞翔・上ヶ嶋 柊也・森 恭亮・佐野 元紀（SSS札幌） 計17名</p>
<p>3、引率者名 嶋田 雄二（SSS札幌）、川内 悠平（サッポロボーイズ）、花田 倅基（北海道コンサドーレ札幌）</p>
<p>4、大会結果 8月7日（月） 空知4-2、千歳3-2、北地区0-3、東地区0-2 8月8日（火） 函館4-0、北空知4-0、苫小牧3-3、旭川0-5</p>
<p>5、成果と課題 成果 ・チーム全体としてボールを大事にする意識が高く、ピッチを幅広く使いながら攻撃を行っていた。 ・全体のバランスを考えながら守備の立ち位置をとって、チャレンジ&カバーを行えた。 課題 ・動きのなかでボールを扱うことや相手のことを意識して技術を発揮することが少なく、簡単にボールをロストしてしまう。そのため、容易に相手のショートカウンターを受けてしまい失点することが多かった。 ・ボールに強くアタックする意識は出てきたが、ボールを奪いきるためのステップワークや粘り強さをいうものが足りずに、簡単に突破や前進を許してしまうシーンが多く、一人一人がボールを奪いきれる選手になる必要性を強く感じた。</p>